

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院
呼吸器外科・心臓血管外科
研究責任者： 于 在強

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 遠位弓部大動脈瘤に対する Open stent を用いた瘤隔離術式の治療成績
研究の目的

超高齢社会が進行する中、大動脈瘤の症例は増加している。腕頭動脈に及ばない遠位弓部大動脈瘤に対して瘤切除を伴う全弓部置換術（TAR）はよく施行され、臨床成績は良好である。しかしながら、frozen elephant trunk（FET）が臨床応用してから、瘤を切除せずにFETを用いた瘤隔離をし、末梢吻合をZone0/1/2までに持つてくる上行弓部置換術+ オープンステントグラフト内挿術（TAR + FET）が行えるようになった。末梢吻合はより施行しやすくなり、術者としての吻合ストレスが減少することは大きな利点である。また、出血や神経損傷などの合併症を減らす効果が期待されている。

研究実施期間 実施許可日 ~ 2026年 3月 31日
対象となる方 2011年1月1日~2025年3月31日までの間、附属病院心臓血管外科を受診し、胸部大動脈瘤と診断され、手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、採血データ、CT画像および所見、治療方法および経過について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

なし

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん/その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	呼吸器外科・心臓血管外科 于在強 0 1 7 2 - 3 9 - 5 0 7 4 yuzaiqiang@hirosaki-u.ac.jp
-------	---